

2026年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7月期 文学研究科 文学言語教育専攻 博士前期課程 日本語教育学領域（外国人留学生入試）	氏名									
小論文 問題用紙（1／1）	受験番号									採点

問 近年、日本国内の企業では、多様な言語的・文化背景を持つ社員が共に働く機会が増えつつあります。日本語母語話者と非母語話者が共に仕事を進めていくためには解決しなければならない問題が数多くあり、これは非母語話者の高い日本語能力（例：N1取得レベル）だけでは対応は不十分であると言われてしています。多様な言語的・文化的背景を持つ人と共に働くには、日本語母語話者と非母語話者の双方に、どのような能力が必要であると考えるか、理由とともに意見を述べなさい。

解答は別紙解答用紙に記入しなさい。問題用紙の空欄はメモとして使用してよい。

採点では、内容の妥当性、文章の構成、論理性、日本語の観点から評価する。

